

特種報告

一、勞資懇談會

九州聯合會第五回年次大會に於て「自主的勞働組合法即時制定要求の件」が議決され、その實行方法の一つとして健實なる勞働組合を資本家に理解させるために勞資懇談會の開催が提唱されたところ、小栗福岡縣知事、吉田協働會常務理事の異常なる努力と斡旋に依つて、昨年四月三日、全國的注目と危惧の中に福岡市に於て我國最初の勞資懇談會が開催され、意想外の成功裡に回を重ねること既に四回、一回は一回毎に會議の規模を擴充し、その意義を深めた。この福岡縣に於ける勞資懇談會の成功が楔機となつて關東、關西に相續いで勞資懇談會が催され、これの全國的普及と成功は昨年來、日本勞働組合會議が齋藤前首相に建議した「産業と勞働の統制」に就き、内務、陸軍、逓信各省次官を初め各政黨幹事長、學者代表的資本家、勞働組合代表者百數十氏の朝野各方面の權威者を集めた勞資懇談會の開催となり、本年六月には日本工業俱樂部主事勝桂之助氏、日本商工會議所書記長渡邊鐵藏氏の招待で同様の勞資懇談會を通じて期待されるに到り、遂に内務省社會局は明年度豫算に於て、國家産業と勞働問題を統制する國策の基盤を作るためこの種の勞資懇談會を積極的に指導する費用の計上を發表してゐる。

九州聯合會の大會議が遂に國策の基盤を作り出すまでに發展させた福岡縣の勞資懇談會の驚異的成功と歴史的責務に協力された人々の芳名を特に本報告書に蒐録してその努力に深甚の謝意を捧げる。

▲第一回勞資懇談會

- 一、日時 昭和八年四月三日(月)午後三時
 - 二、會場 福岡市因幡町福岡縣教育會館
 - 三、出席者 (順序不同)
- 事業主側 製鐵所磯谷光亮、渡邊鐵工所渡邊福雄、安川

電機製作所安川第五郎、淺野セメントストリート門司工場竹内基、岡部鐵工所岡部繁、おたふくわたくし株式會社原田平五郎

勞働組合側 總同盟九州聯合會伊藤卯四郎、官業勞働同志會瀧橋文作、海員組合門司支部久保田長一郎

官廳側 福岡縣知事小栗一雄、福岡縣工場課長大島弘夫
福岡縣特別高等課長青柳一郎

主催者側 協働會常務理事吉田茂、協働會勞働課長町田辰次郎、協働會福岡出張所長清原進

▲第二回勞資懇談會

- 一、日時 昭和八年七月二十日午後二時三十分
- 二、會場 福岡市因幡町福岡縣教育會館
- 三、出席者 (順序不同)

事業主側 株式會社渡邊鐵工所渡邊福雄、岡部鐵工所岡部繁、おたふくわたくし株式會社原田平五郎、淺野セメントストリート部門工場竹内基、黒崎製業株式會社松本健次郎、製鐵所安永渡平、安川電機製作所安川第五郎、日本足袋株式會社石橋徳次郎、日本足袋株式會社石橋正二郎、大日本麥酒株式會社博多工場中田光三郎、東京製網株式會社菊地寛次、明治鑛業株式會社安川清三郎、株式會社麻生商店野田勢次郎、海軍燃料廠探炭部大東健夫、海軍燃料廠探炭部高橋忠雄、製鐵所二瀬出張所吉田友輔、三菱鑛業株式會社筑豊鑛業所藤岡萬五郎、三井鑛山株式會社田川鑛業所宇野操一、三井鑛山株式會社三池鑛業所深川正夫、筑豊石炭鑛業組合吉見實

勞働組合側 總同盟九州聯合會伊藤卯四郎、總同盟九州聯合會久保時造、セメント勞働組合門司支部白木清三

▲第三回勞資懇談會

- 一、日時 昭和九年一月二十七日午後一時
- 二、會場 福岡市因幡町縣教育會館
- 三、出席者 (順序不同)

事業主側 日本足袋株式會社石橋徳次郎代理大江力、日本足袋株式會社石橋正二郎代理小植井寛、三井鑛山株式會社三池鑛業所井本定祐、おたふくわたくし株式會社原田平五郎代理原清造、大正鑛業所西川政之助、岡部鐵工所岡部繁、日本板硝子二島工場大石公平、海軍燃料廠探炭部大東健夫代理山川廣一、渡邊鐵工所渡邊福雄代理林良吉、東京製網小倉工場香月五郎代理菊池寛次、日本製鐵株式會社二瀬鑛業所吉田友輔、筑豊石炭鑛業組合吉見實、安田製釘所瀧川岩太郎代理森繁、飯塚鑛業株式會社社長崎岡次郎、三井鑛山株式會社田川鑛業所